



公立東濃中部医療センター

Tono Chubu Medical Center

地域の安心を支える、新しい医療拠点。
2026.2.1 OPEN



ご挨拶



東濃中部病院事務組合
管理者
土岐市長
加藤 淳司

公立東濃中部医療センターは、土岐市立総合病院と東濃厚生病院の診療機能を受け継ぎ、「地域医療の要」として、新たに歩み始めます。

土岐市、瑞浪市及びJA岐阜厚生連では、医療を取り巻く状況が大きく変化する中、東濃中部圏域の医療を安定的・継続的に提供するために協議を重ねてきました。その過程では、コロナ禍や建築資材価格の高騰など幾重もの困難に直面しましたが、公立病院としての役割を果たすため、充実した36の診療科を備え、需要に応じた400床の病床を有する病院を開設することができました。

さらに、産科・分娩機能を開始することで、「安心して産み、安心して育てる」環境が整います。

当センターの開院は、地域の皆様をはじめ医療関係者など多くの方々のご理解とご尽力の賜物です。心より深く御礼申し上げます。地域住民の皆様の「頼りがいのある病院」を目指して歩み続けてまいります。皆様の変わらぬご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。



東濃中部病院事務組合
副管理者
瑞浪市長
水野 光二

このたび、公立東濃中部医療センターが開院の運びとなりました。開院にあたりましては、地域の皆様をはじめ、医療関係者、関係各位の多大なご理解とご協力を賜りましたことに対し、心より深くお礼を申し上げます。

公立東濃中部医療センターは、急性期から回復期、在宅医療を切れ目なく提供する地域医療体制の中心的な役割を果たす病院となります。また、統合により医療資源、医療に関わる人材を集約することにより、高度で先進的な医療の提供が可能となります。24時間365日対応する救急医療体制、リハビリテーション機能の充実、地域の念願であった産婦人科の開院など、これまでより充実した医療提供体制も整えています。

当医療センターが、良質で安全安心な医療を提供し、医療の発展に貢献することで、地域から信頼され、頼りがいのある病院となるよう、指定管理者のJA岐阜厚生連と共に目指してまいりますので、なお一層の支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長
古川 敏之

公立東濃中部医療センターの竣工にあたり、県、地元行政、大学をはじめ、関係機関ならびに地域の皆様より多大なるご理解とご協力を賜りましたことに心より御礼申し上げます。

本センターは、東濃厚生病院と土岐市立総合病院について、国および県が推進する地域医療構想の方針に沿って協議を重ね、再編・統合し新築整備することに至りました。医師確保をはじめとする諸課題に対応し、地域医療を将来にわたり安定的に提供できる体制を構築してまいります。

本会は、岐阜県内で培ってきた病院運営の経験を活かし、指定管理者として運営を担い、地域に根ざした質の高い医療と信頼される病院づくりに取り組んでいきます。さらに地域の医療機関、介護・福祉施設等との連携を一層深め、住民の皆様が安心して暮らせる医療環境の実現を目指します。

今後とも関係各位のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。竣工のご挨拶といたします。



公立東濃中部医療センター
病院長
塚本 英人

このたび公立東濃中部医療センターが無事に竣工の日を迎えることができましたのは、ひとえに国、県、土岐市・瑞浪市の両市をはじめ、行政機関、大学、関係各位、そして地域の皆さまの、永年にわたるご支援とご理解の賜物であり、心より感謝申し上げます。

本センターは、東濃厚生病院と土岐市立総合病院が統合し、東濃中部地域の医療を支える新たな中核病院として誕生しました。急性期から回復期、さらには地域包括ケア、緩和ケア、在宅支援に至るまで、切れ目のない医療を提供し、地域完結型医療の実現に取り組んでまいります。

また、未来志向の病院を目指し、最新の医療設備と充実した診療体制のもと、安全で質の高い医療を提供するとともに、働く職員が誇りとやりがいを持てる職場づくりにも努めてまいります。

最後に、病院の基本理念であります「地域住民の頼りがいのある病院」を胸に、地域の皆さまの健康を支え、安心・安全な暮らしを提供すべく、「この病院があってよかった」と信頼される医療機関となるよう、職員一同、力を尽くしてまいります。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

基本理念

地域住民の
「頼りがいのある病院」を
目指します

基本方針

1. 患者さんの人権を尊重し
良質で安心安全な医療を提供します。
2. 地域社会から信頼される医療を行います。
3. 医療の発展に貢献できる病院を目指します。

新病院概要

建物概要

延床面積 39,083 m² 鉄骨造・7階建(免震構造)

診療機能

- 病床数
病床数 400床（一般病棟 296床、緩和ケア病棟 20床、地域包括ケア病棟 40床、回復期リハビリテーション病棟 44床）
- 主な諸室
手術室 7室、リハビリテーションセンター、血液浄化センター、外来化学療法センター、内視鏡センター、健診センター、各種検査室など
- 主な医療機器
手術支援ロボット、手術ナビゲーションシステム、血管造影装置、リニアック、ガンマカメラ、PET-CT、リハビリ支援ロボット、高周波式がん温熱治療装置



● 総合受付



● 外来ストリート



● 病室(特室)



● 病室(個室)



● 病室(4人部屋)



● 緩和ケア病棟



● リハビリテーションセンター



● MRI



● 放射線治療 バリアンEdge



● 高周波式がん温熱治療装置
ハイパーサーミア アウクーフ8



● 手術支援ロボット ダヴィンチ



● リハビリ支援ロボット
ウェルウォークWW-2000
岐阜県内初導入

各フロア構成図

